

～初級から楽しく描こう～  
第12期 楽しい水彩・パステル

【7月の活動報告】

7月 8日(月) <sup>テーマ</sup>水彩(静物)(1) 光の方向と影(明度で描く) & パステル(1) 歴史

◎光の方向には正面、斜め、側面、後方の4つがある

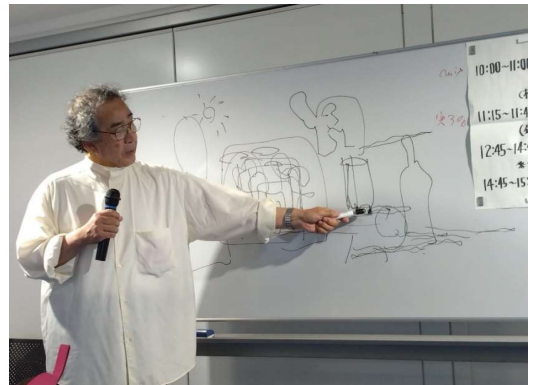
- ・また直接光、散乱光、天頂光がある  
→ 初めに明るさと暗さの度合いを良く見極める
- ・影は碇の役目を果たしており、画面を面白くする
- ・影にはそれぞれの色があることを忘れない
- ・題材と影との境界がハッキリしない方が自然な感じになる

◎パステルが画材として一般的になったのは18世紀になってから

- ・絵具が乾くの待つ必要もなく素早く制作できるのを特徴とする
- ・作品の仕上がりを決めるので 描く支持体(紙)が重要となる

◎土方先生によるパステルの各種技法・テクニックのデモンストレーションが行われた

◎実技指導(静物画・自主制作のパステル画・水彩画)  
パステルの技法などについて指導を受けた。



テーマ

7月 22日(月) 水彩(静物)(2) モチーフの組み合わせ・構図 & パステル(2)技法

◎数種類の形に大中小と言った大きさの変化があるもの、  
材質や色の異なるものが、変化が表現出来て望ましい

- ・ピラミッド型の構図などは安定感があり、また奥行きや前後感が出しやすくなるように配置する
- ・題材と影との境界がハッキリしない方が自然な感じになる
- ・静物画の「制作プロセス」

鉛筆デッサン→ 背景の広い面から一気に平塗 → 大きなモチーフから塗る、他の題材を太い丸筆で大まかに描く、後方物体を透視する  
→ 各題材の固有色に明暗の調子を加える

◎パステル画の技法

- 1.面を描く 2.点で描く 3.線で描く 4.色を混ぜる 5.色の境界をぼかす
- 6.ペールを掛ける 7.線で表情を作る 8.色を除く 9.粉で色彩のゆらぎを描く 10.白色のバリエーション

◎実技指導(静物画・自主制作のパステル画・水彩画)  
モチーフの並べ方やパステルの技法などについて指導を受けた。



テーマ

7月 29日(月) 水彩(静物)(3) (植物・果物)対象物を理解する

◎バラバラの対象物を不必要に沢山選ぶことなくシンプルに、  
統一性を以って配置する

- ・【花】 自然のままでも、静物の様にアレンジされても描ける、一本でも多種類でも混ぜて描ける、細部まで描くことも、大まかに印象主義的にも描ける
- ・花の制作プロセスについて説明を受けた
- ・【果物】 3パターンの絵具の組み合わせによるリンゴの描き方、またモモ、ブドウなど光面が粉を吹いた様な果物の描き方について説明を受けた

◎実技指導(静物画・自主制作のパステル画・水彩画)  
持参した花、果物の並べ方、描き方などについて指導を受けた。

